

21世紀の日本経済と金融

中央大学 貝塚啓明

いくつかの重要な論点を挙げる

日本経済の将来について

- 1990年代をそのまま投影することの危険性；悲観的に過ぎる
- 構造的要因の重要性；日本型システムの崩壊・変容はプラスか；プラスである
 - この点については、国際経済の動向、とくに為替レートの将来が重要なポイント
 - 貿易収支の悪化（円高傾向がいつまで進むか？）
 - 日本の個人投資家の危険回避的行動と裏腹となっている
 - 中国経済の競争力
- 21世紀初頭は、2%、あるいは3%のGDP成長率を維持できれば良い

労働市場の動向も重要

- 実質賃金が高すぎる（終身雇用・年功序列賃金と関係）

金融の将来

国際金融の趨勢

- グローバリゼーションは変わらず
- 19世紀の金本位制の時期とどう違うか？
- 資本移動の不安定性はどの程度か？

国内金融の問題

- 金融システムの不安定性の解消が必要条件
- オバ・バンキングの是正
- 外資の役割？
- 直接金融の場を如何に強化するか？
- 公的金融の役割をどこまで縮小するか？